

## 職業奉仕月間に当たり 今こそ実践へ

職業奉仕委員会 委員長

### 北川 忠嗣

(東大阪東RC)



今年度、泉ガバナーは「地区方針として一人一人の輝きであなたの地域を輝かそう」で、それぞれの地域に密着した奉仕活動といわれています。

ロータリーの目的は、ロータリアン一人一人が個人として、職業人として、職業生活の中で地域社会の一員として、常に職業を通して地域社会に貢献しなければなりません。

委員会では地域社会の貢献の一つとして、ロータリアンの職業を生かし学校教育への貢献のお手伝いが出来ます様、ここ10年来出前授業・職業体験学習を中心とした奉仕活動を進めています。それはロータリアン各人の職業観に基づき、生徒たちに職業哲学を伝えるという点において職業奉仕の考え方に近いという事から、当委員会にて実施しています。

又「ロータリーは人づくりである」という人を育てるという考えのもと、内なる人づくり(人生の道場であるといわれている例会及び各種フォーラム・炉辺会合等におけるロータリアンの人づくり)とロータリアン以外の外なる人づくり(青少年・米山奨学生・出前授業・職場体験学習等)、将来のロータリアンへの育成も考えています。

最終的には自分づくりでもあります。

#### [本年度の地区職業奉仕委員会の方針]

- ①職業奉仕月間において、クラブ委員長自らが卓話をして頂き、その後フォーラムの実施をして頂く。必要であればその為の資料は準備します。
- ②各クラブから事業計画についてのアンケートを集約させて頂き、それを精査。委員長会議等にてフィードバックします。
- ③出前授業・職場体験学習を更に推進し、現在計画中又計画されるクラブに対し意見交換させて頂く場を持ちたいと思います。実施に対しては、必要であれば、十分なサポートを行いたいと思います。学校年度とロータリアン年度とのずれがありますので、継続性を持ち考える事が大切であります。
- ④皆様方のクラブにおいて、会員の皆様が職業について話す機会(5から10分)を持って頂ければと思います(成功・失敗談も含めて)。